

日本科学振興会

（昭和十三年）

東京大学理学部

日本精華第九輯

(52) 持國天王 (五尊佛の一) 六 尺

この石佛は大分縣大野郡南緒方村山林中にあり



日本神祇志

高野山 正尊像(一)

高野山 正尊像(一)

日本精華第九輯

(53)

二

王 (五尊佛の一)

六

尺

大分縣大野郡南緒方村山林中にあり



日本植物志

(17)

17

17

17

17

17

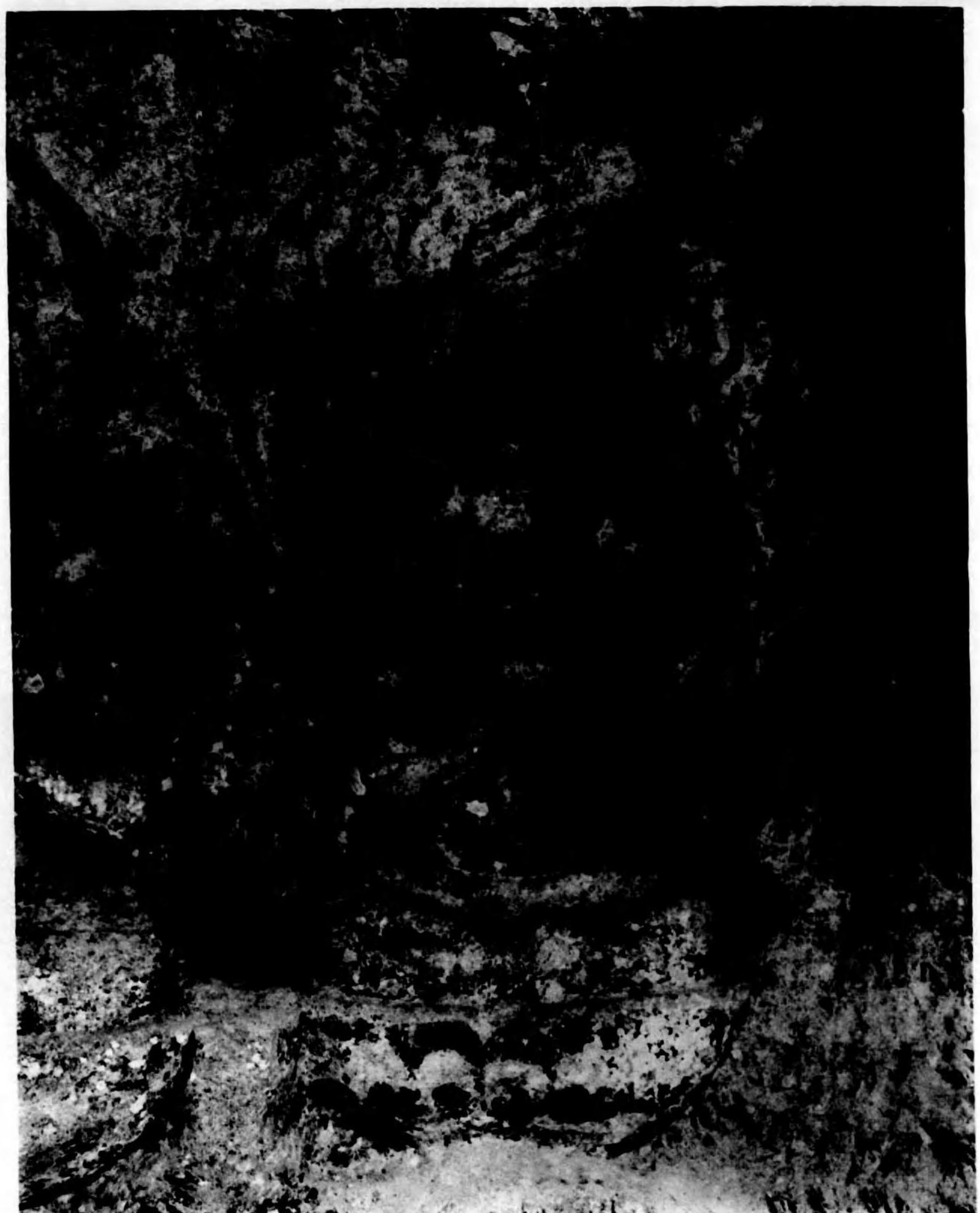
17

17

日本精華第九輯

(54) 愛染明王 五尺

大分縣大分郡植田村高瀬の岡にあり尙其の當時の彩色等は残存せり



日本經濟叢書

(七) 愛 樂 地 王

此書之內容  
凡欲知日本經濟田村高麗之關係者宜其先讀此書

欠



日本精華第九輯

(56) 胎藏界大日如來

七尺五寸

この石佛は大分縣大分郡東植田村高瀬の岡にあり尙  
其の當時の彩色等は殘存せり



(07) 畿 邇 界 大 日 取 來

子 久 正 十

日 本 群 衆 學 會 誌

其 中 當 初 心 算 考 古 學 會 誌  
二 〇 年 第 三 次 大 會 論 文 集 第 一 冊 第 一 〇 〇 頁 以 下

日本精華第九輯

(57) 大威德明王

五尺五寸

大分縣大分郡植田村高瀬の岡にあり尙其の當時の彩色等は殘存せり



日本書紀卷之十

(36) 大 鸕 鷀 門 王

五ノ五ノ

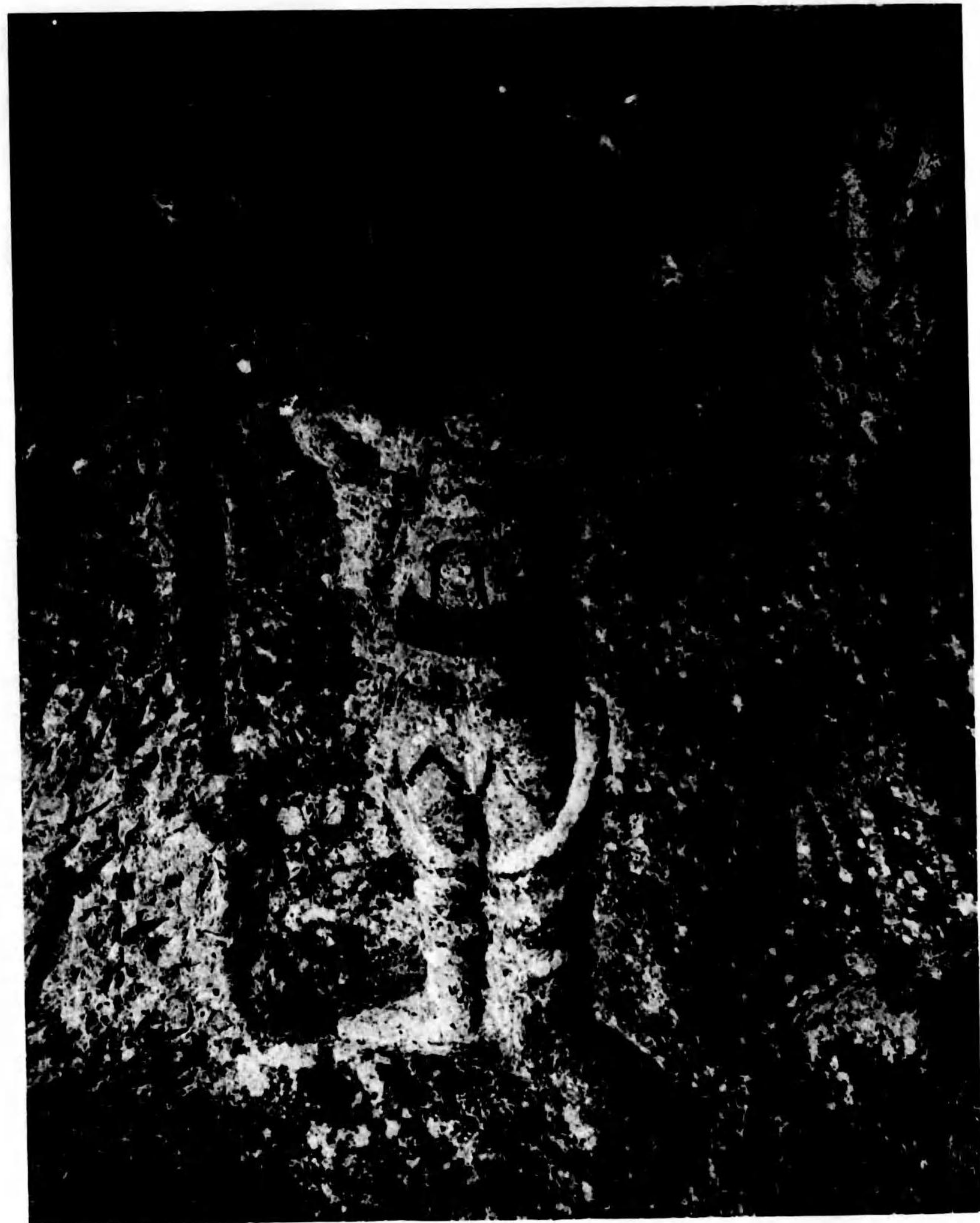
皇紀百九十九年  
大皇孫大等御孫田村高廣の國に於て其の宮に於て

日本精華第九輯

(58) 軍茶利明王

四尺六寸

大分縣大分郡植田村高瀬の岡にあり尙其の當時の彩色等は残存せり

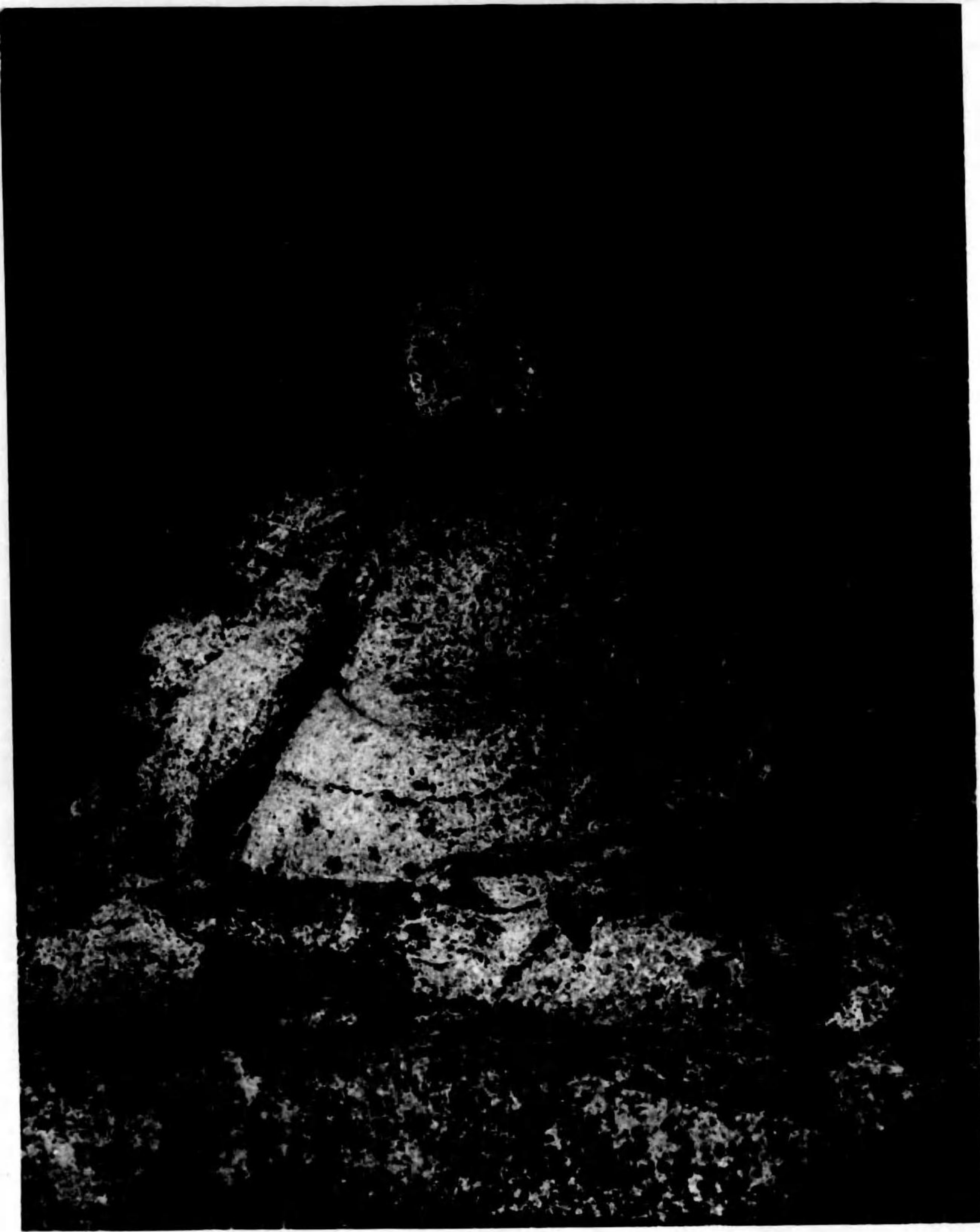


Faint, illegible text or markings on the right page, possibly bleed-through from the reverse side of the paper.

(59) 胎藏界大日如來

大凡五間もあらん

この石佛は大分縣西國東郡田染村熊野神社境内にあり先年元奈良縣技師天沼博士(現今京都府)金石碑文調査の爲め豊州に到りこの石佛を研究せられしも遙か上方に梵字の存するあり高處にして細密の調査を得ず。雖も雨界曼荼羅あるを認め則ち大日如來と假定せらる。而して後新納忠之助氏も亦調査せらるゝに大日如來に非ず上方に法華經の梵字あり加ふるに大日如來の印相と相違せり然ればこれ釋迦如來なりと推定せらる。爰に予これを撮影するにあたり片方に巨大なる不動の尊像あるを見れば大日如來なる事を確信す。こゝに到り村民等は後者の説を信するもの、如し予は前者の説をとりて胎藏界大日如來なりとす世の博識家の教示を賜は、幸甚



(82) 瓏 嶽 界 大 日 岫 來

大 尺 氏 間 也 也 小

瓏嶽界大日岫來... 此の瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來... 瓏嶽界大日岫來...

日本 華 嚴 寺 碑





日本精華第九輯

(60) 不 動 尊

この不動尊は大分縣西國東郡田染村熊野神社境内にあり大凡五間もあらん眞に大作なり



日本書紀

卷之四

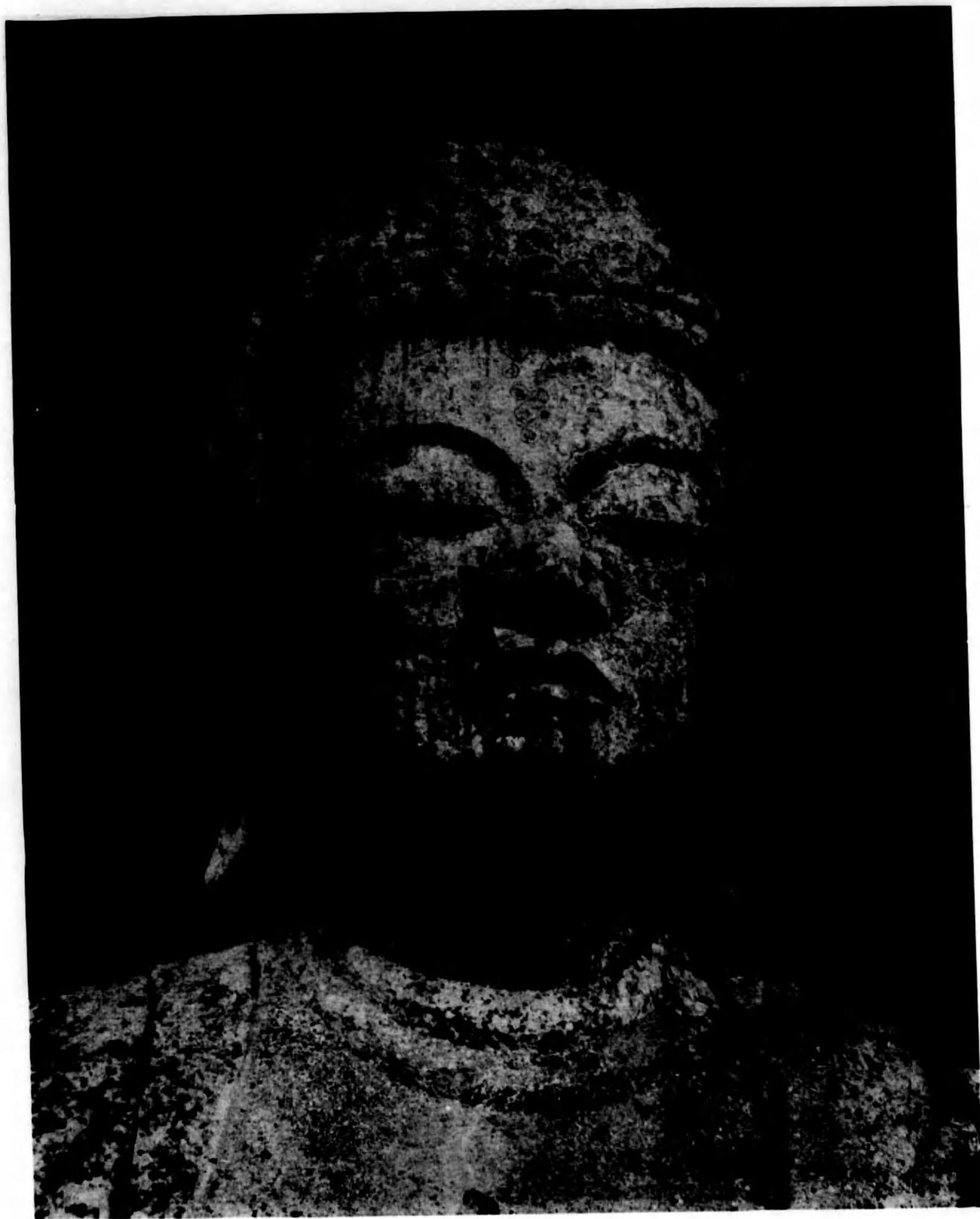
神代卷

日本精華第九輯

満月寺遺蹟石佛

壹丈壹尺

大分縣大野郡白杵町字深田にあり



大分縣大津藩白林町宇野田ニ在リ

漸良寺觀音菩薩 壹丈壹尺

日本書畫叢書

日本精華第九輯

滿月寺遺蹟石佛

大分縣大野郡白杵町字深田にあり



大分縣大津郡白井町宇野田二丁目

龍目寺遺蹟石佛

日本書紀卷之三十一

日本精華第九輯

滿月寺遺蹟石佛

大分縣大野郡白杵町字深田にあり



齋貝寺靈巖石佛

日本醫藥叢書

大分縣大津湖白井町齋田



日本精華第九輯

満月寺遺蹟石佛

大分縣大野郡白杵町字深田にあり



日本  
佛  
教  
史  
論

齋  
氏  
著  
齋  
氏  
著

大  
正  
十  
二  
年  
十  
月  
二  
日



日本精華第九輯

滿月寺遺蹟石佛

大分縣大野郡白杵町字深田にあり



日本書紀卷之六

新羅王讚

大正十二年四月二十日

日本精華第九輯

四尊佛

この石佛は大分縣西國東郡田染村一の宮八幡神社境内にあり



日本群衆叢書

四

卷

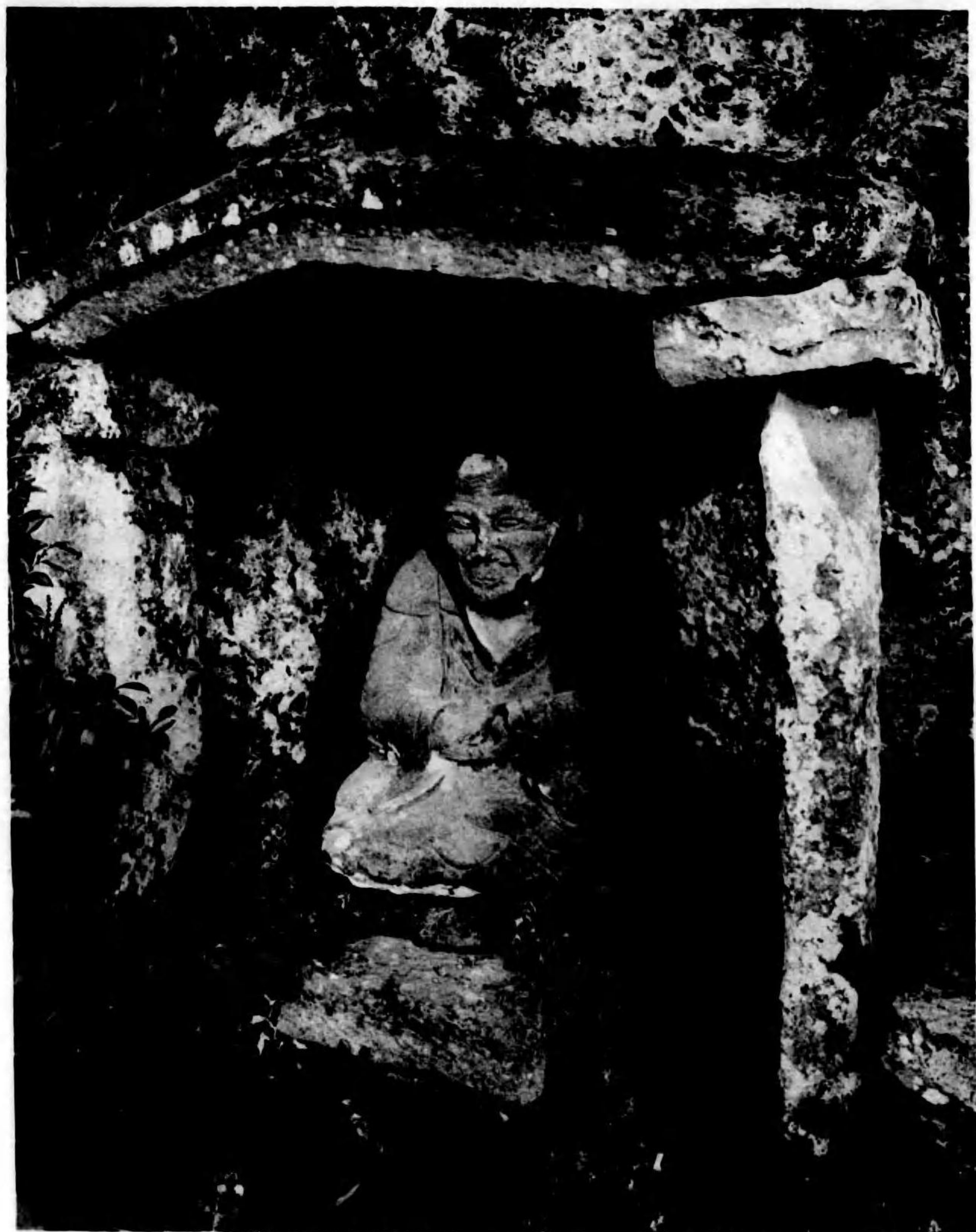
冊

内二卷  
二卷 日本群衆叢書 第四卷 第一冊 宮内省圖書部

日本精華第九輯

炭焼長者同時の僧侶と云ふ

大分縣大野郡臼杵町深田炭焼長者の古屋敷  
にあり



吳縣具香同朝の僧侶と云々

日本辭華彙次

大分縣大裡郡白林町高田吳縣具香の古風堂



日本精華第九輯

山水勝景 (一)

この山水は大分縣西國東郡田染村の銘山にて一の宮  
八幡神社の四尊佛はこの山の背面にあり里人よんで  
小耶馬溪と言ふ



日本  
辭  
華  
漢  
式  
辨

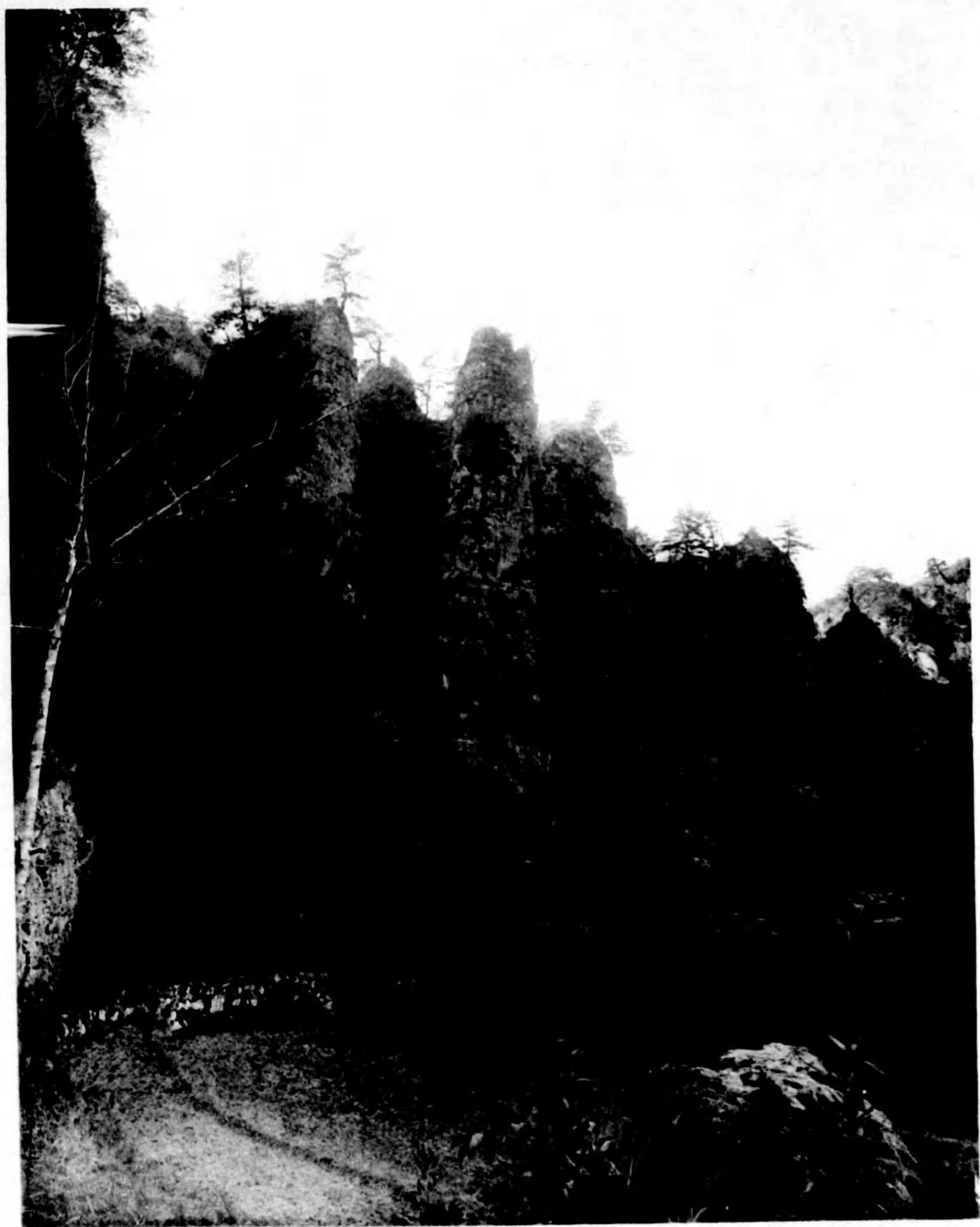
山  
水  
觀  
景  
(一)

小  
浪  
温  
野  
之  
言  
也  
八  
辭  
物  
種  
の  
四  
尊  
給  
お  
こ  
の  
山  
の  
昔  
面  
こ  
も  
り  
里  
人  
ま  
よ  
う  
こ  
の  
山  
水  
お  
大  
倉  
瀧  
西  
國  
東  
瀧  
田  
夢  
村  
の  
瀧  
山  
こ  
の  
宮

日本精華第九輯

山水勝景 (二)

この山水は大分縣西國東郡田染村の鎔山にて一の宮  
八幡神社の四尊佛はこの山の背面にあり里人よんで  
小耶馬溪と言ふ



日本辭華彙考

山水雜景

(二)

小原愚翁之言云  
八幡神の四尊神は此の山の背側にもり里人もふす  
この山水は大分縣西國東郡田原村の龍山といふ所の宮

日本精華第九輯

山

嶽

この山嶽は大分縣中山香驛より遙か東北雲に聳る高山にして熊野神社と相對する向ヶ平なり石佛には關係なきも熊野神社參拜者のみちしるべきす



日本 辭 華 彙 式 附

山

嶽

嶽とは山頂の峻峻たる所をいふことなり  
山は山頂の峻峻たる所をいふことなり  
この山嶽は大分縣中山香縣より蓋は東非雲の嶽の高

日本精華第九輯

梵

鐘

この梵鐘は宇佐八幡宮境内にあり日清戦争の時ぶんどりせし物なりと石佛には關係なきも美術工藝家の参考とす銘は大明國萬曆二年云々



日本辭華彙式編

梵

韻

此書は、大正四年、東京、大正堂、出版、  
し、その中に、梵字の、音、を、  
し、その中に、梵字の、音、を、



日本精華第九輯

三尊佛中大日如來 九 尺

この石佛は大分縣大野郡南緒方村山林中にあり



三尊中大日如来

日本群奉溪火脚

式  
只

日本精華第九輯

三尊佛中大日如來 (其二) 九 尺

この石佛は大分縣大野郡南緒方村山林中にあり



三尊佛中大印嚩來(其二) 其

日本書紀卷之三十一

日本書紀卷之三十一



日本精華第九輯

三尊佛中大日如來 (其二) 九 尺

この石佛は大分縣大野郡南緒方村山林中にあり



三尊中大日喚來

三尊中大日喚來 (其二)

此 只

日本書紀卷之六

終